

第58回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会②】

日時：2025年8月6日（水）

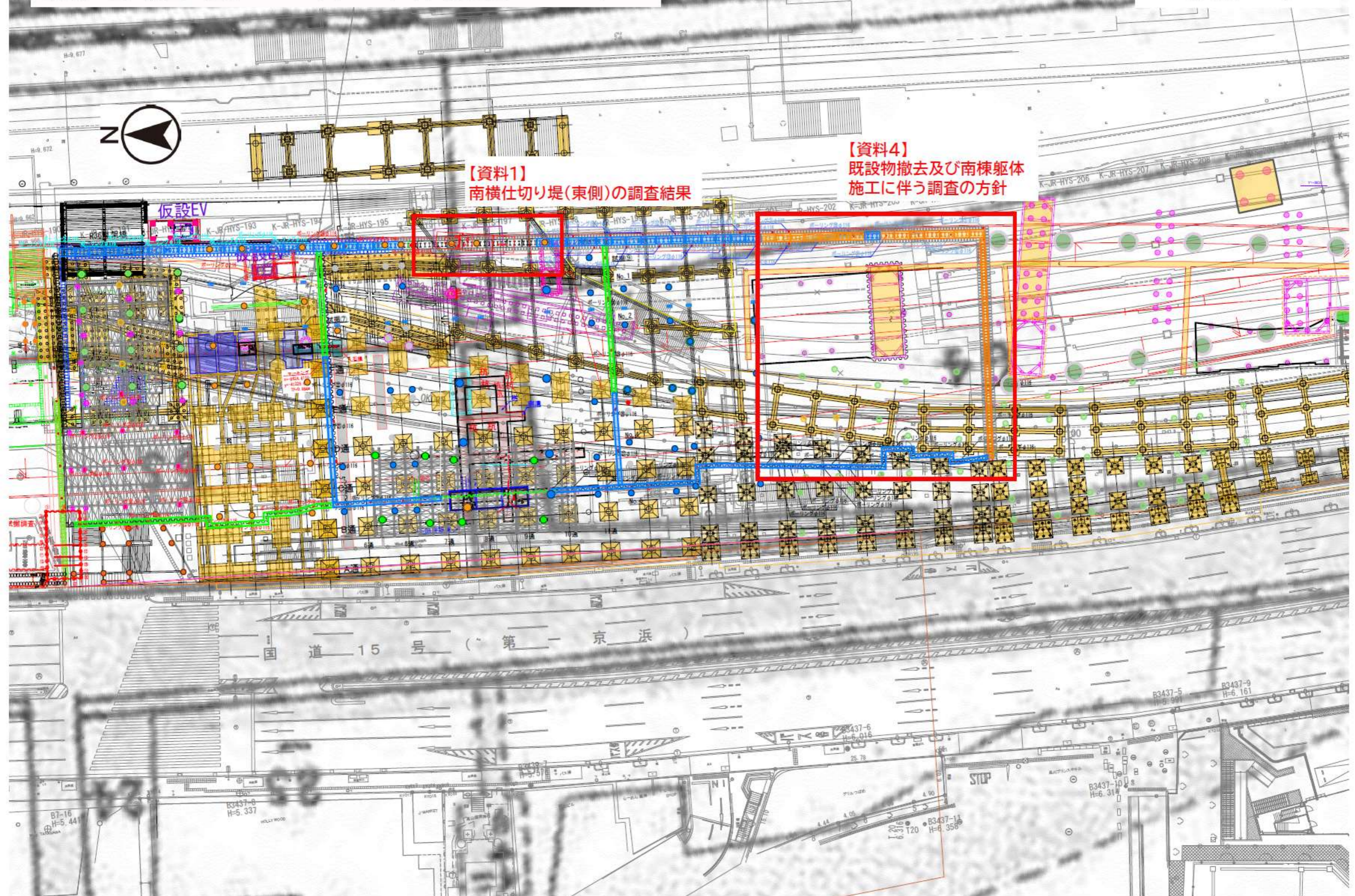
全体会・部会②・部会③ 10:00～12:00（予定）

場所：JR 東日本現地会議室

次 第

【部会②】

- (1) 開会
- (2) 調査結果について 【資料 1】
- (3) 南横仕切堤付近の駅街区南棟（橋上駅舎）山留の施工について 【資料 2】
- (4) 京急連立仮受け進捗に伴う既設構造物撤去・駅街区南棟（橋上駅舎）
躯体施工について 【資料 3】
- (5) 調査の方針について 【資料 4】
- (6) その他
- (7) 閉会



【資料1】
南横仕切り堤(東側)の調査結果

【資料4】
既設物撤去及び南棟躯体
施工に伴う調査の方針

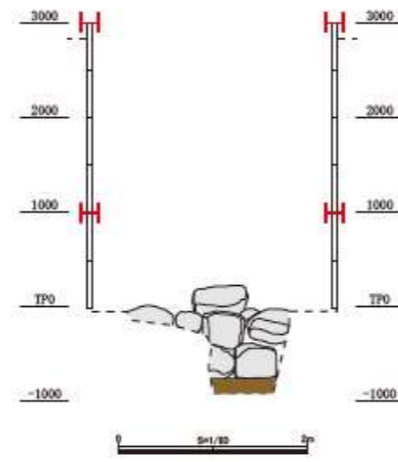
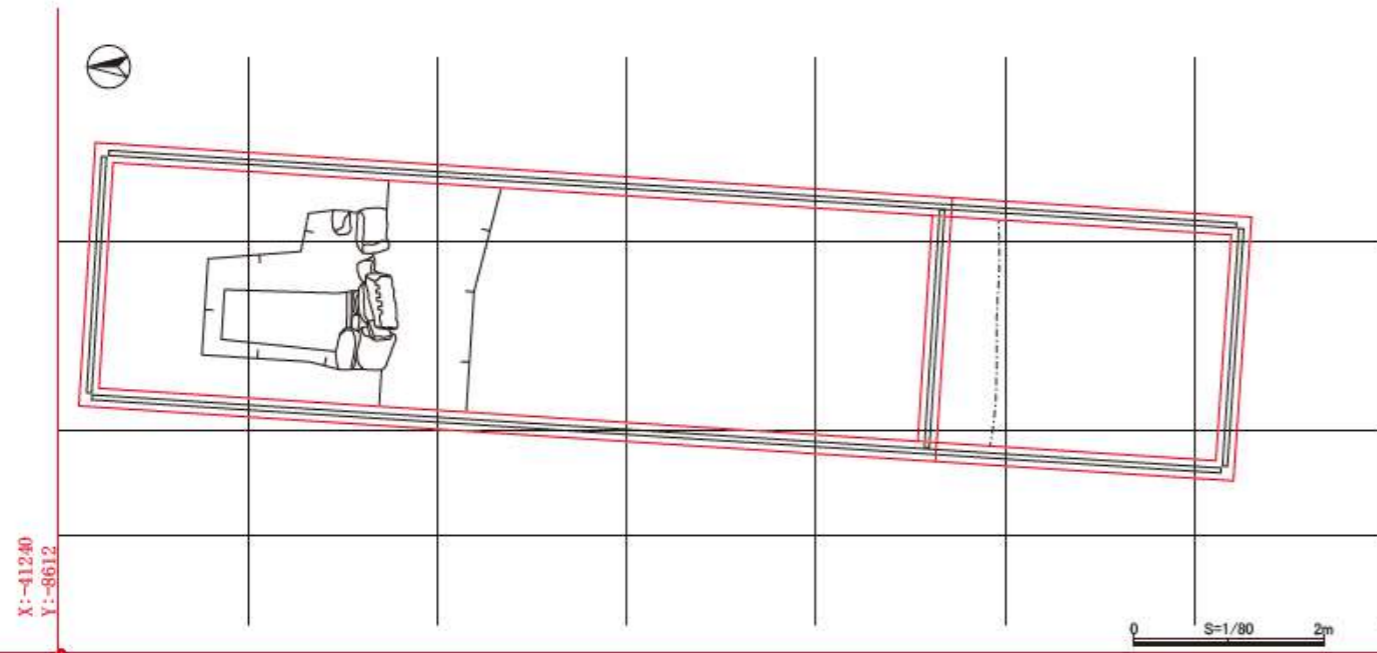
仮設EV

国道15号(第一京浜)

STOP

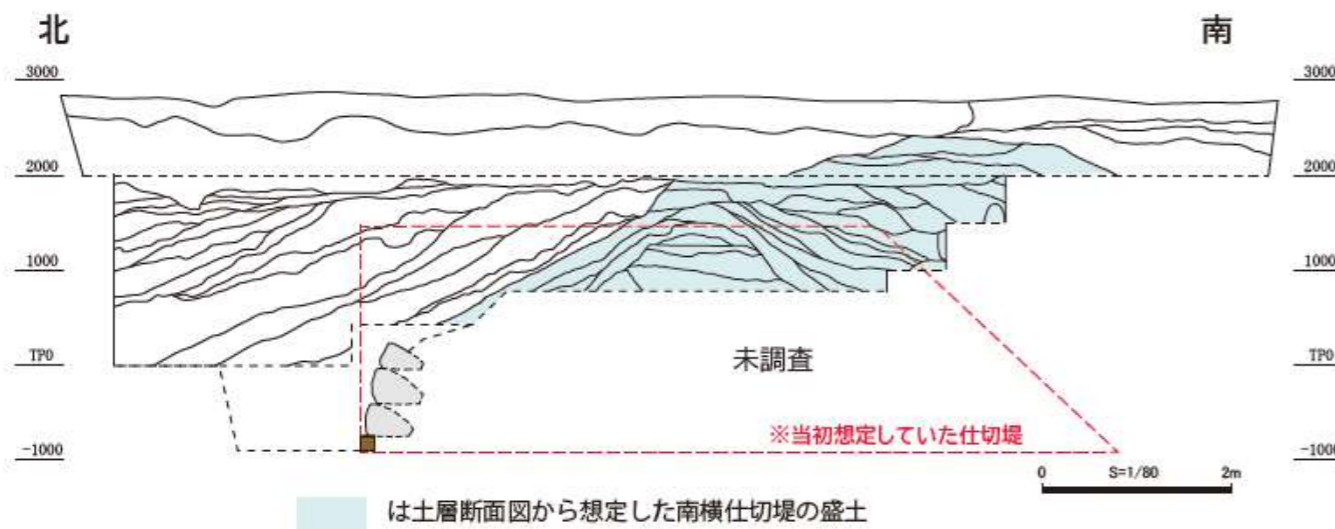
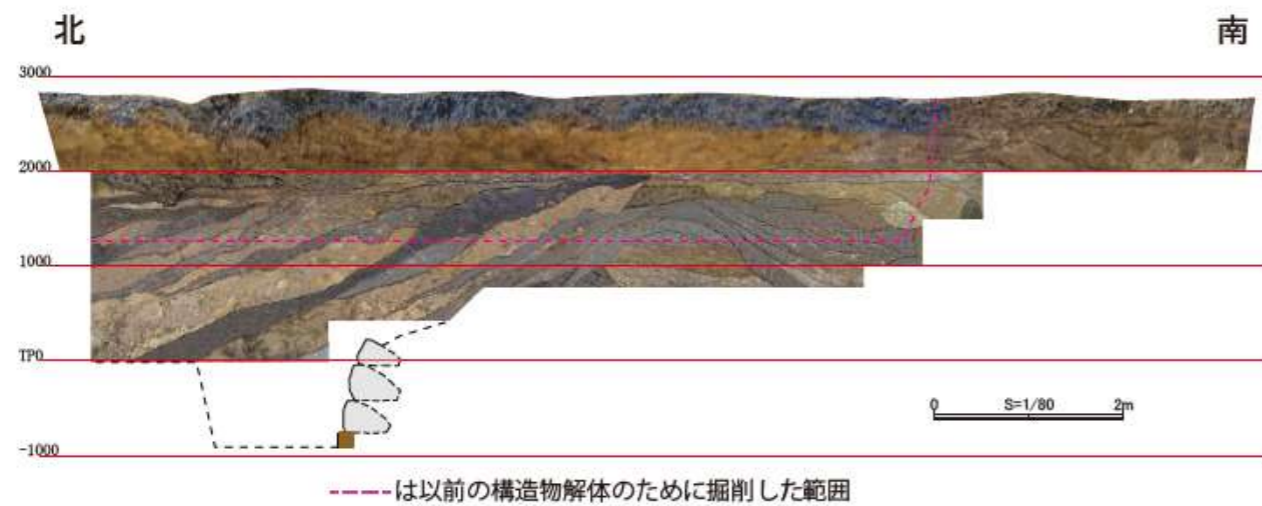
地点③の調査成果について

【資料 1-3】



【調査成果】

- ・ 胴木と石積み3段を確認した。石積みは4段目以上は電留線の整備等により、撤去されたものと考えられる。
- 参考：第7橋梁北横仕切堤では6段、同南横仕切堤では7段の石積みを確認。
- ・ 仕切堤本体の盛土の上部は良好なところでTP+2.4m付近まで残存している。
- ・ 電留線に伴う構造物を撤去した部分は、TP+1.3m付近まで攪乱されているものの、それ以深は盛土等が残存している可能性がある。



▲ 構造物撤去時掘削範囲確認状況 (2025年6月16日撮影)

◀ ピット下構造物確認状況 (2022年8月3日撮影)

【参考】



▲ 第7橋梁南横仕切堤 (2021年11月17日撮影)

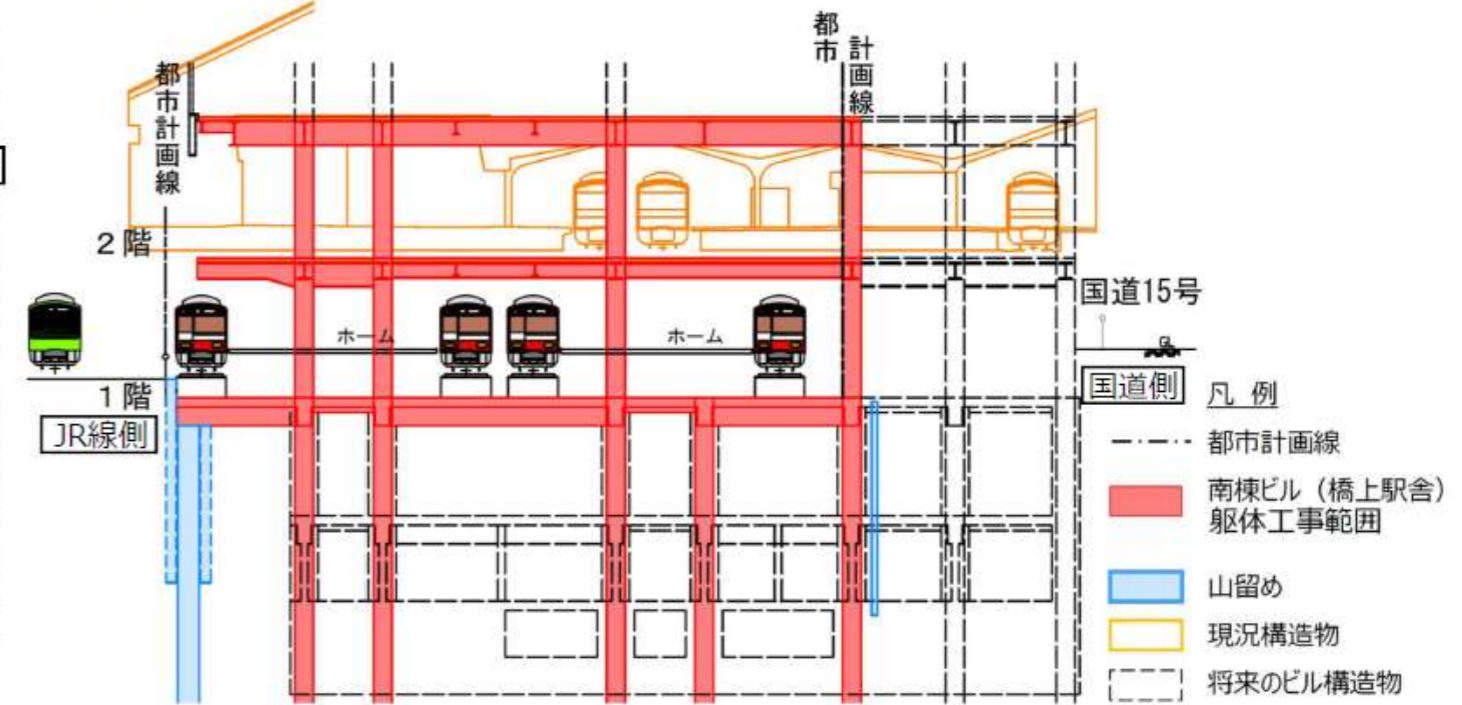


▲ 第7橋梁北横仕切堤 (2022年4月20日撮影)

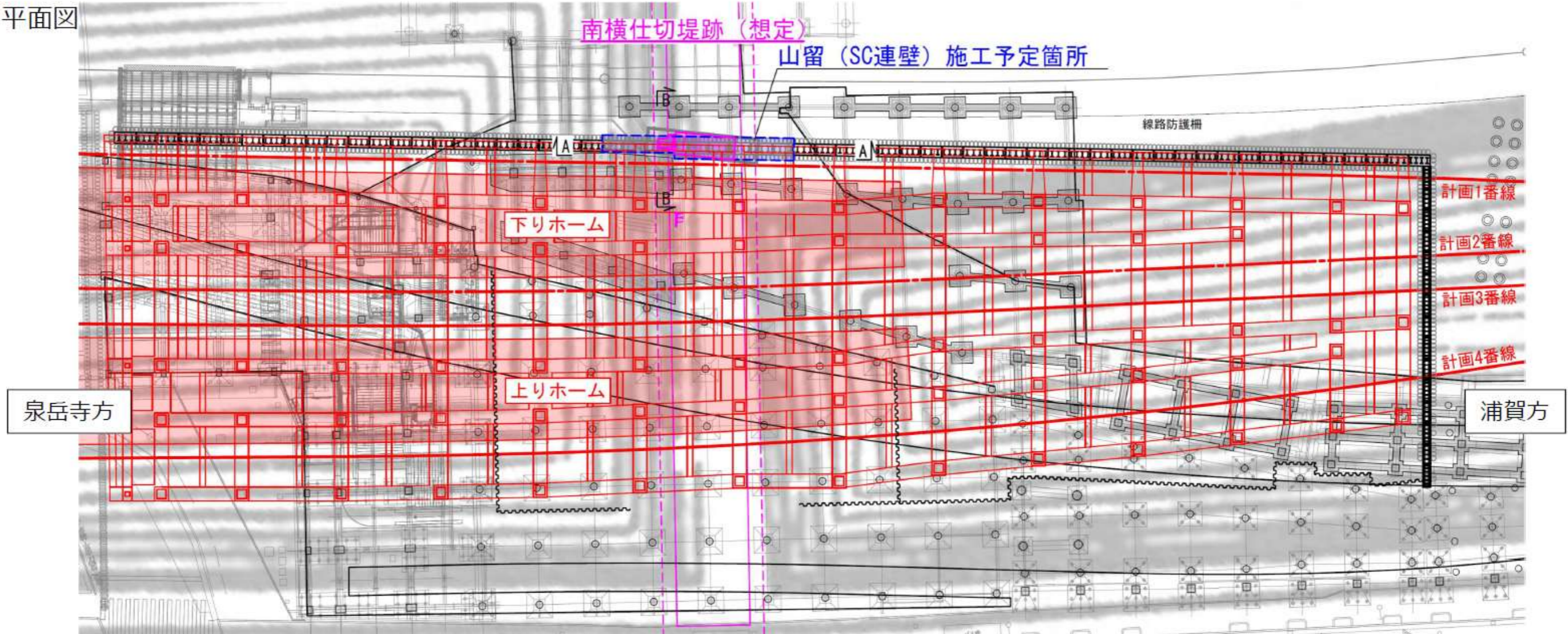
1. 駅街区南棟（橋上駅舎）山留の施工状況



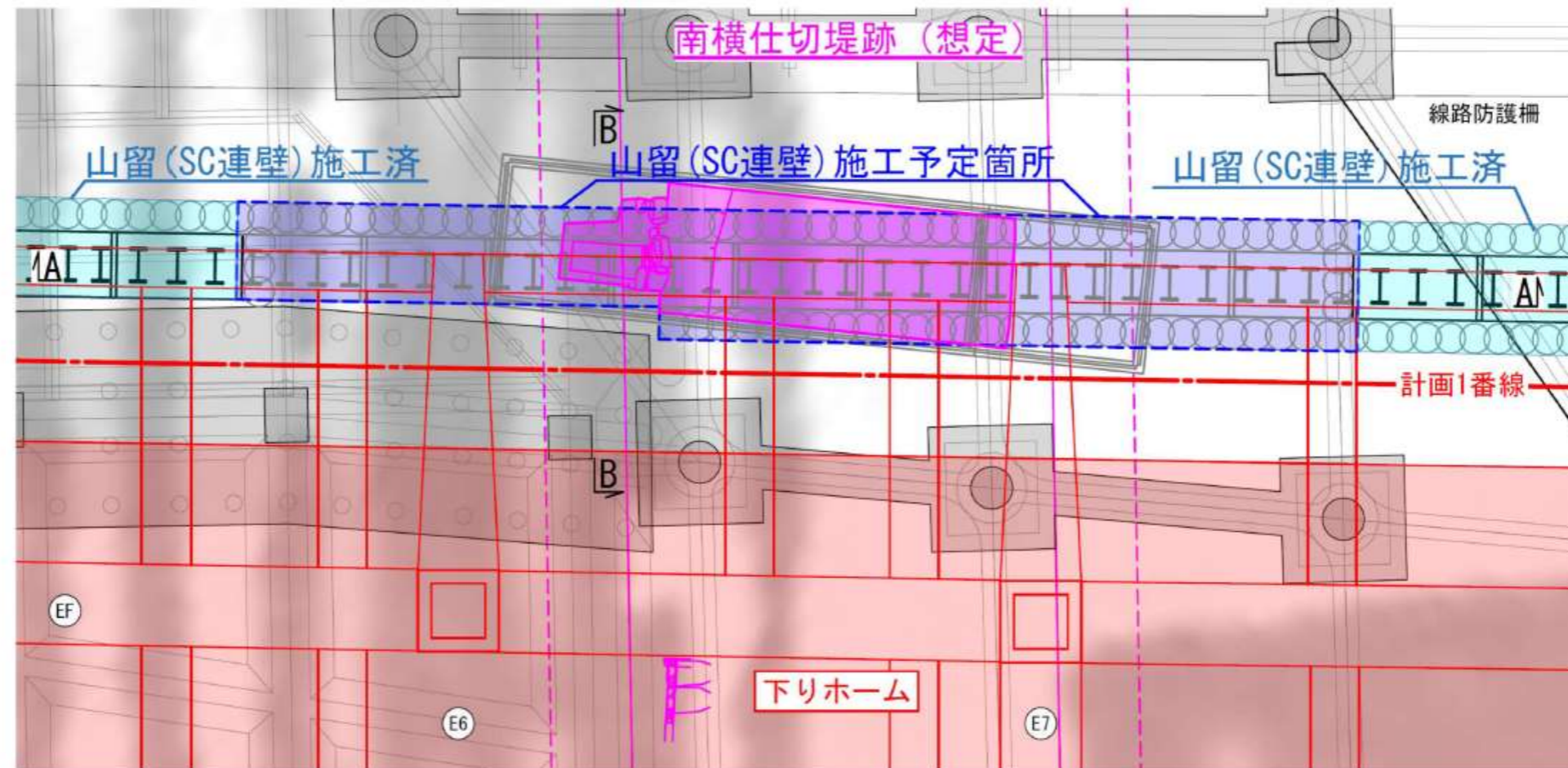
2. 断面図



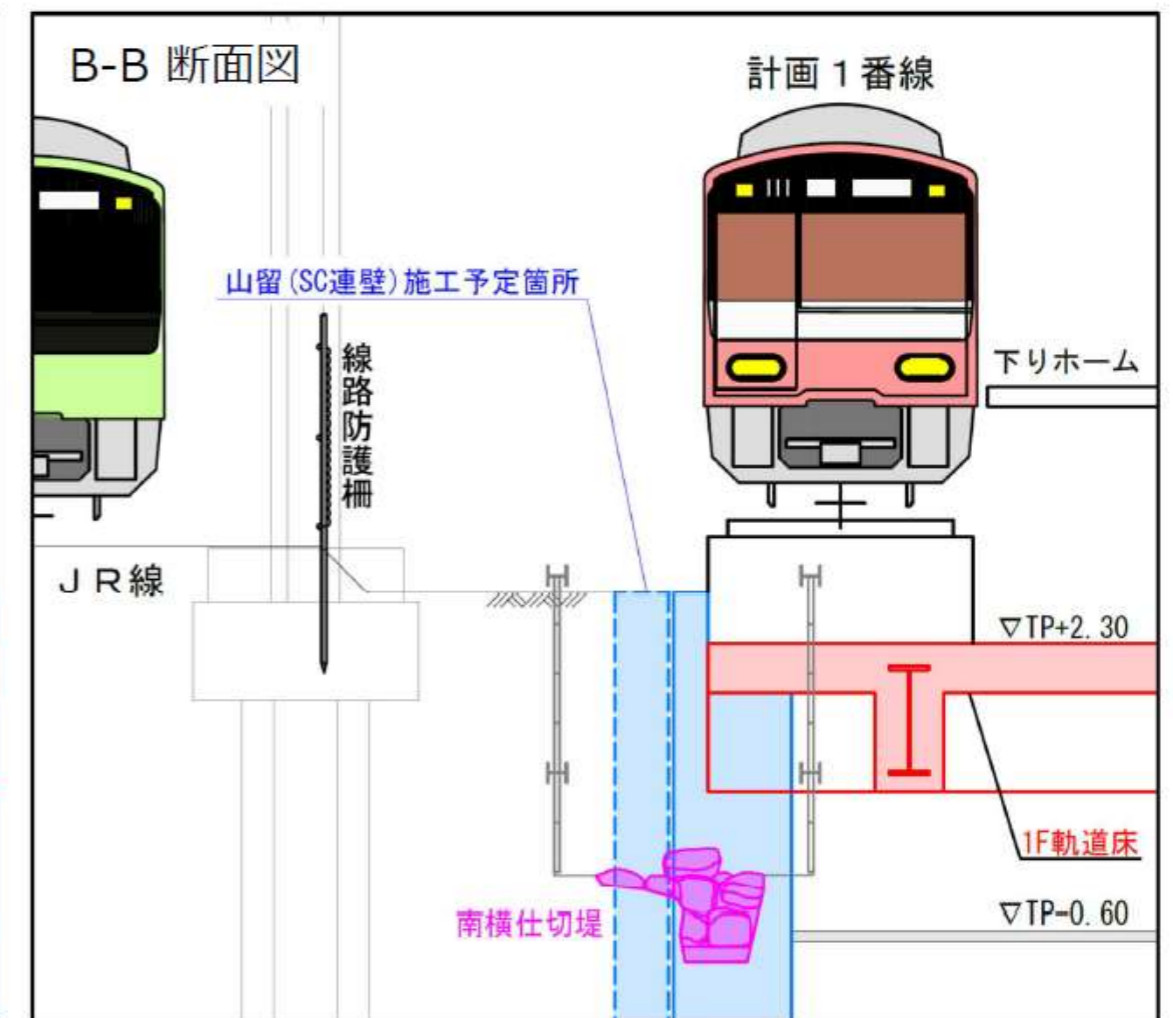
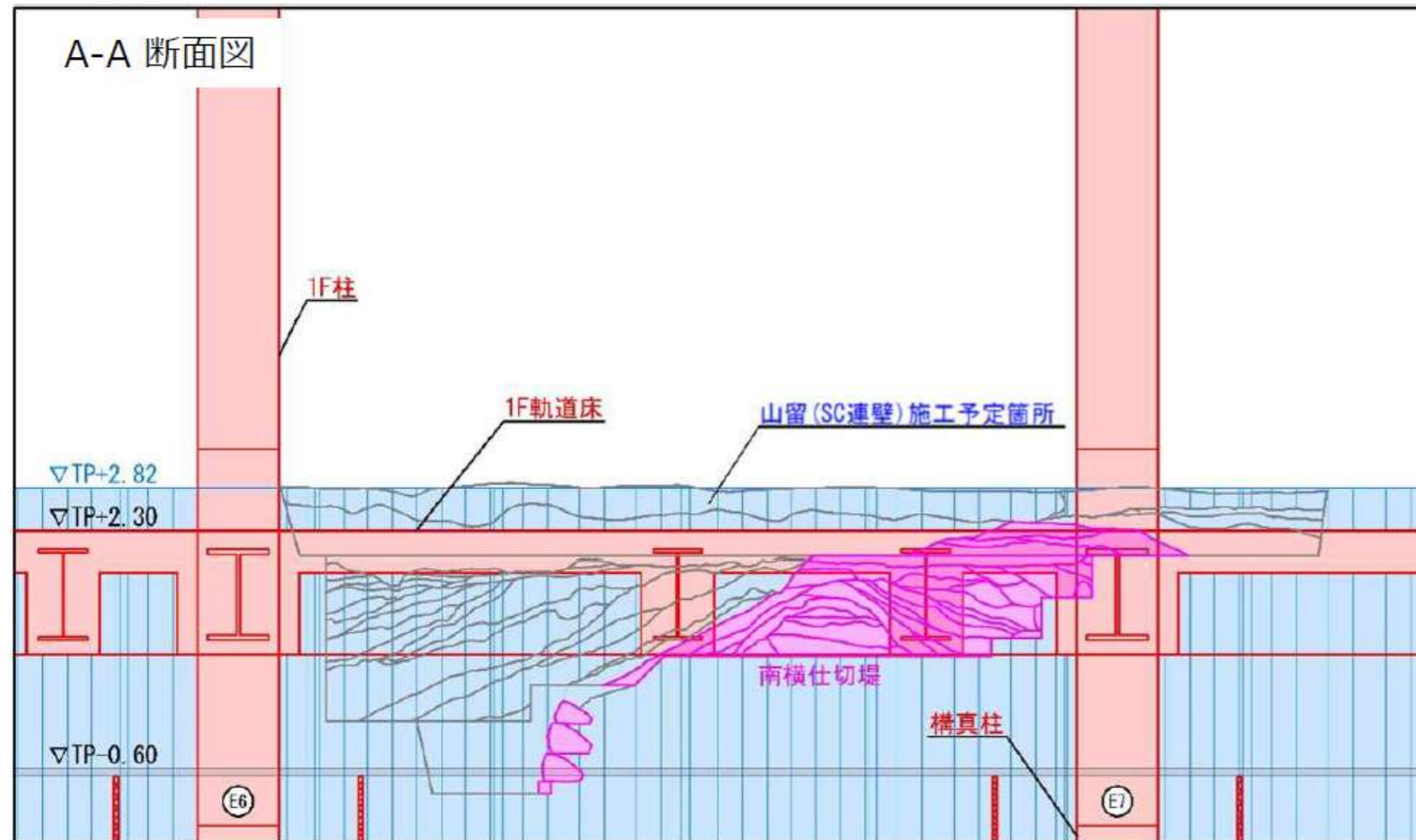
3. 平面図



4. 拡大平面図

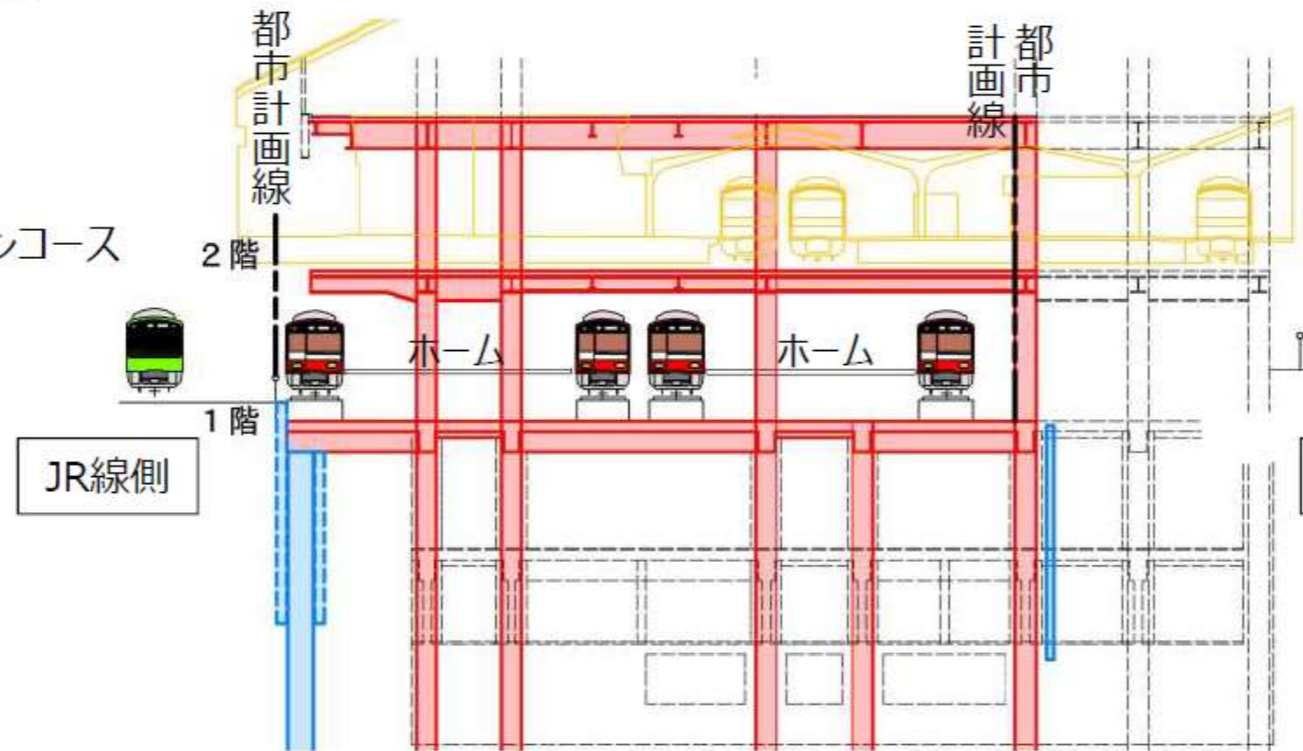


5. 断面図



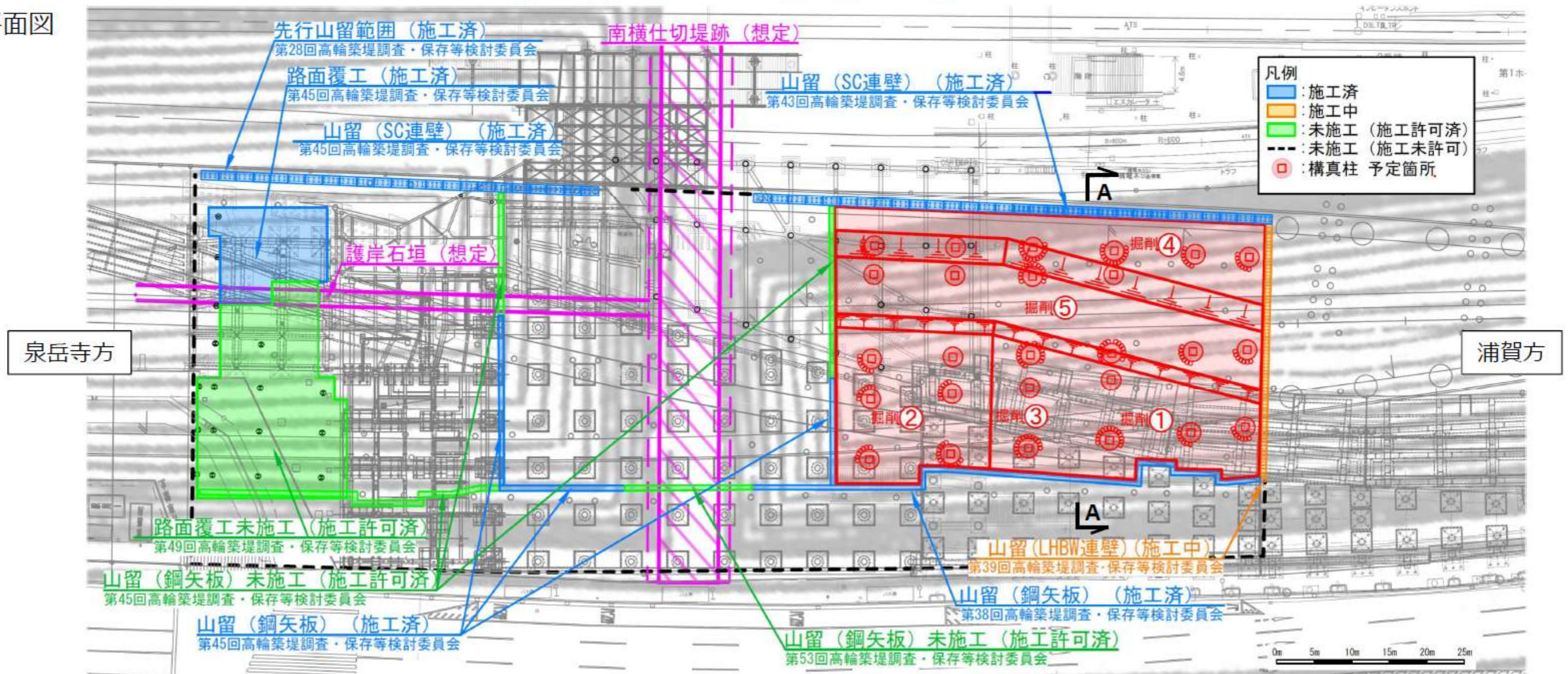
1. 南棟ビル（橋上駅舎）躯体工事概要

京急線連立事業と合わせ、品川駅の駅舎躯体（鉄道施設やコンコースが収まるビル建物）を構築する。



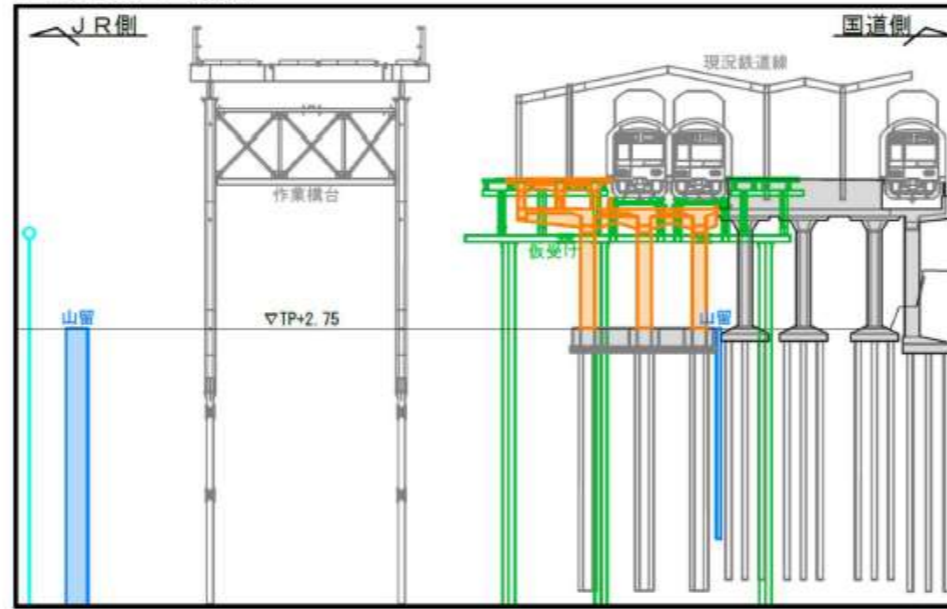
- 凡例
- 都市計画線
 - 南棟ビル（橋上駅舎）躯体工事範囲
 - 山留め
 - 現況構造物
 - 将来のビル構造物

2. 平面図

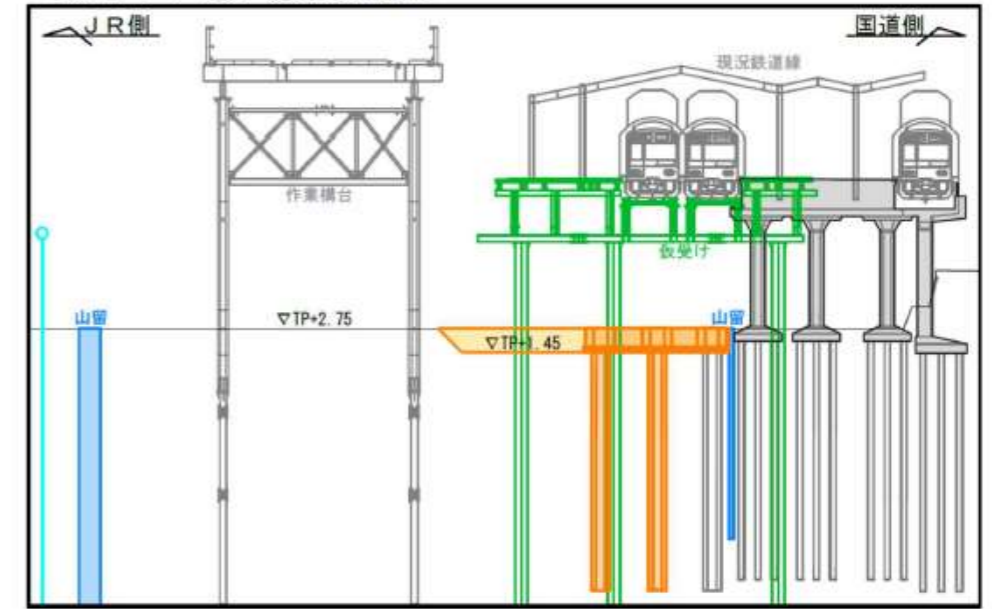


3. 施工ステップ（A-A断面）

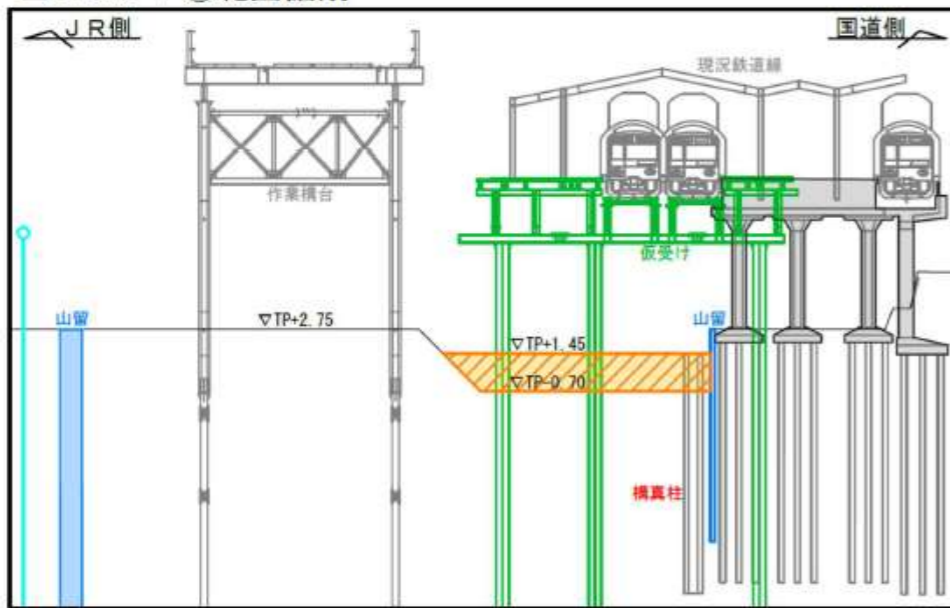
■STEP0：現況



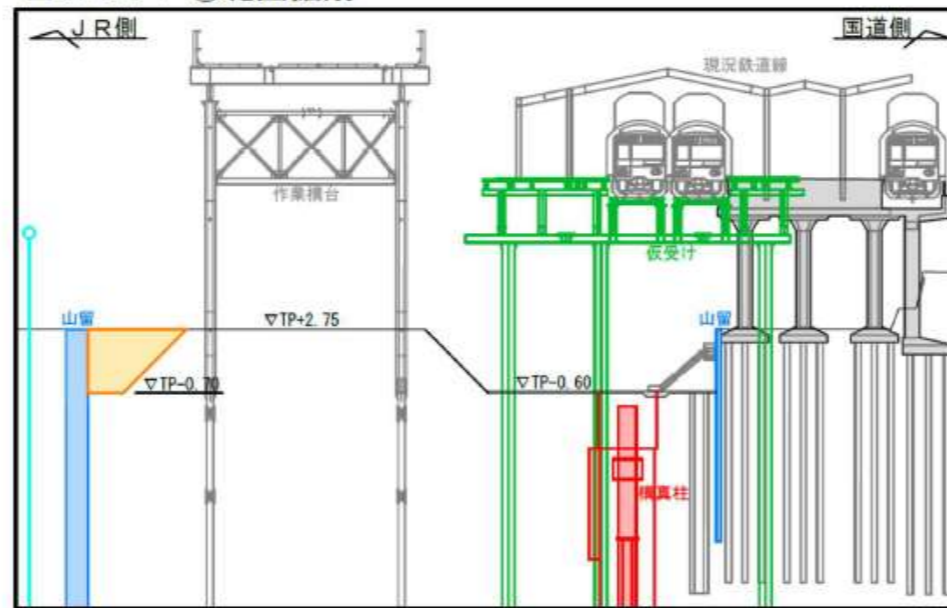
■STEP1：①、②範囲掘削



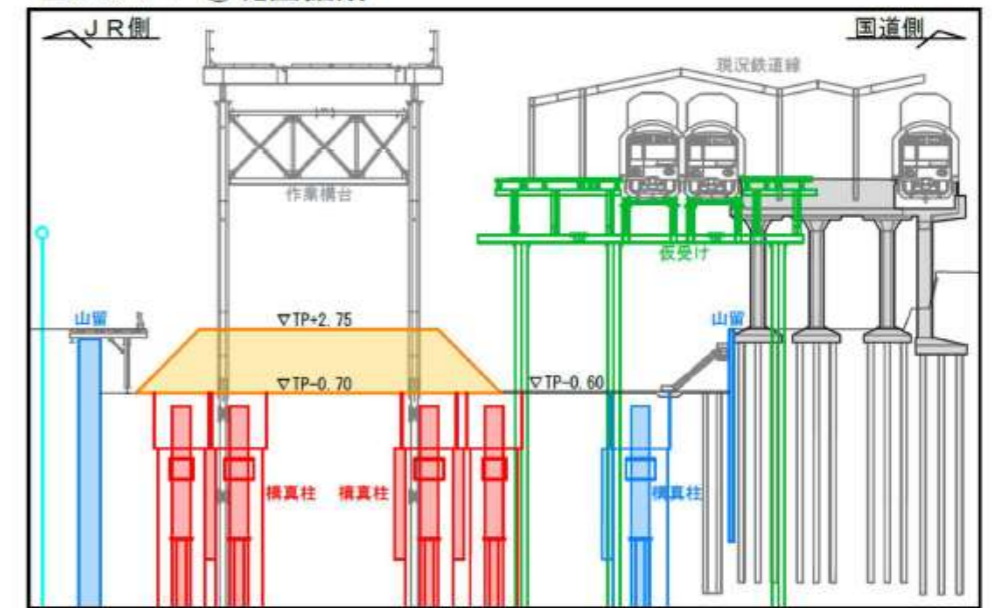
■STEP2：③範囲掘削



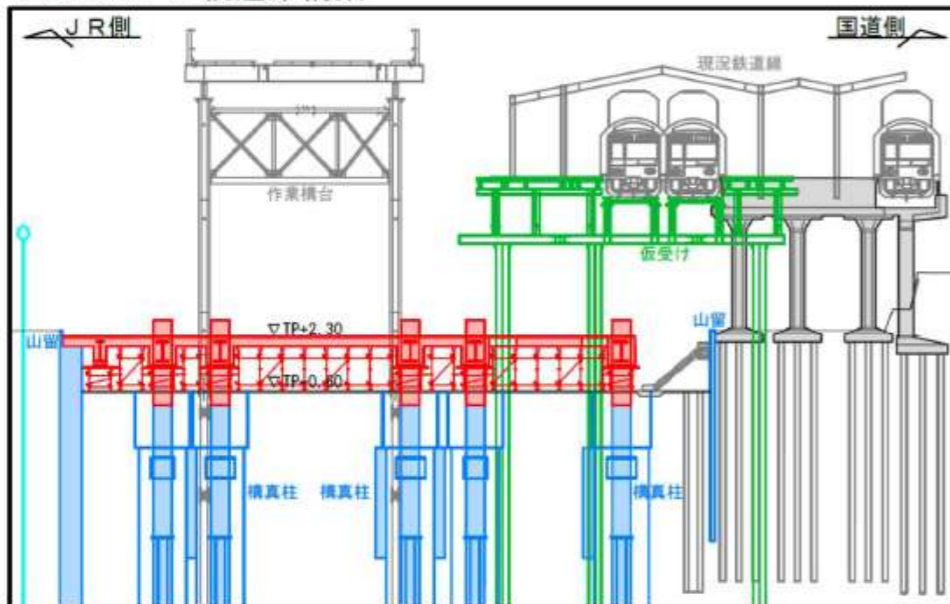
■STEP3：④範囲掘削



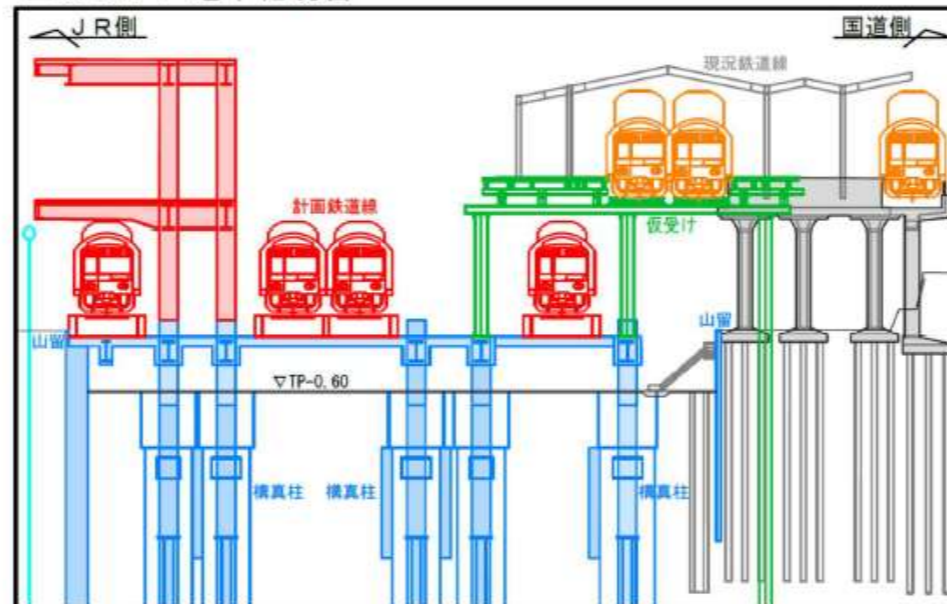
■STEP4：⑤範囲掘削



■STEP5：1F軌道床構築



■STEP6：地平化切替



凡例

- ：撤去工・掘削工
- ：仮設工
- ：本設工

調査の方針について

【資料4】

【資料 1-2】 ①

東 西

南横仕切堤 (想定)

高輪築堤

※硬質粘土層は確認されず

トレンチ調査状況 (西から)

木製構造物 検出状況 (南から)

「高輪ヨリ品川迄土層板層修理ノ議」(鉄道博物館所蔵『鉄道家事務簿』巻4所収) に加筆

第43回高輪築堤調査・保存等検討委員会 (2024年5月8日開催) 資料に加筆

Eブロック 調査位置について

平面図

泉岳寺方 浦島方

記録調査断面③ 記録調査断面② ボーリング調査測点 記録調査断面①

線路防護柵 用地境界線

盛土裾ライン(想定)

記録調査断面④ 記録調査断面⑤

記録調査断面④ 記録調査断面⑤

記録調査断面③ 記録調査断面② 記録調査断面①

調査地点② 仮設構台基礎等工事に伴う調査

② トレンチ1 北壁土層断面

▲築堤西側端部

③ トレンチ2 北壁土層断面

▲築堤西側端部

第24回高輪築堤調査・保存等検討委員会 (2022年12月7日開催) 資料に加筆

【想定される遺構】

- ・旧地形 (谷地形の一部)
- ・土取り穴等 (基盤層を掘り込む土坑)
- ・高輪築堤 (拡幅時の西側裾部の盛土、土留め関連の構造物等)
- ・明治9年 (複線化) 以降の埋め立て土及び埋め立て時の整地層
- ・埋め立て完了後の構造物 (建物基礎、側溝等)
- ・拡幅後の南横仕切堤の土羽

【調査成果として必要な事項】

- ・高輪築堤西端部の確定
- ・連立1工区の調査成果との比較 (盛土の比較等)
- ・埋め立ての時期や方法
- ・埋め立て後の土地利用に関すること
- ・土取り穴等の分布、性格等
- ・旧地形の推定

【調査の方法】 ※工事と並行して実施

A.旧水溜め部 (主に①～③、⑤南半)

- (1) サブトレンチ (部) を設け、土層断面の記録及び整地層や遺構の有無を確認。
- (2) サブトレンチの成果に基づき、それ以外の範囲を掘削。

※工事の掘削深度に合わせ、(1)と(2)を繰り返し実施。

B.築堤部 (主に④、⑤北半)

- (1) 築堤上部の埋め立て土の記録、除去
- (2) 築堤裾部の検出、付帯遺構の確認、記録、基盤層の確認
- (3) 土取り穴等の検出、掘削、記録

※京急連立1工区に準じる

C.土層断面

AとBの関係を確認 (調査断面①～③)

Aの縦断方向の土層堆積 (調査断面⑤)

Bの縦断方向の土層堆積 (調査断面④)